

授業概要

小学校 5 年生から学ぶ「家庭科」について、教科の特性や現代の子どもたちの生活実態に触れながら、家庭科を学ぶ意義などについて検討していく。明治以降の「家庭科」の目標、内容についての歴史の変遷をたどりながら、家庭科教育の理念や目的、特性を理解するように講義をする。小学校家庭科の教科内容、指導方法等の基本的な事項について、講義、演習、実習を通じて、指導者に必要な知識理解とともに実践的な技能・態度を培う。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション（受講者の確認、学んできた家庭科を振り返る等）
第 2 回	家庭科教育の本質（歴史的社会的背景からの考察）
第 3 回	家庭科教育の目標
第 4 回	小学校家庭科の学習内容の検討①（家族・家庭生活）
第 5 回	小学校家庭科の学習内容の検討②（衣生活）
第 6 回	小学校家庭科の学習内容の検討③（食生活）
第 7 回	小学校家庭科の学習内容の検討④（住生活、消費生活・環境）
第 8 回	家庭科の学習内容に関する体験学習からの検討 衣生活領域①身近な小物の製作
第 9 回	家庭科の学習内容に関する体験学習からの検討 衣生活領域②生活に役立つものの製作
第 10 回	家庭科の学習内容に関する体験学習からの検討 食生活領域①ご飯と味噌汁の調理
第 11 回	家庭科の学習内容に関する体験学習からの検討 食生活領域②おかずの調理
第 12 回	家庭科の学習内容に関する体験学習からの検討 住生活・消費生活領域①ごみ処理調査
第 13 回	家庭科の学習内容に関する体験学習からの検討 住生活・消費生活領域②家計簿作成
第 14 回	体験学習を振り返る
第 15 回	授業のまとめ
第 16 回	試験

到達目標

小学校家庭科の目標、教科内容等の基本的な事項について理解する。家庭科の学習指導において必要な知識理解とともに実践的な技能・態度を培うことを目標とする。

履修上の注意

出席日数 2/3 以上を満たしていない場合は、単位修得はできない。
小学校教諭を目指す学生は履修をすることが望ましい。また、「初等教科教育法（家庭）」を履修する前に、本授業を履修すること。

予習復習

予習として、小学校学習指導要領解説（家庭編）、小学校家庭科教科書を授業に必ず用意し、授業計画に該当する内容を読んでおくこと。授業で学んだこと、課題等を復習として各自行うこと。
新聞やインターネットから、家庭、生活に関する時事問題を探しておく。

評価方法

試験（60%）、授業への取り組みの姿勢および小レポートの評価による平常点（40%）から総合的に評価する。

テキスト

- 『小学校家庭科教科書』（開隆堂）・（東京書籍）
- 『家庭—教科指導法シリーズ 小学校指導法』池崎喜美恵編著（玉川大学出版部）
- 『小学校学習指導要領解説 家庭編』（文部科学省）